



29年10月号

検査室だより

あっという間に秋になりました。高い空、澄んだ空気、爽やかな秋の日です。そんな日は夕焼けもきれいです。夕日を見ながら青春を懐かしむのもたまにはいいかもしれません。

動物を飼っていますか？犬ですか？猫ですか？最近ではハムスターやハリネズミ、へびなども飼っている方もいるようです。大切な家族です。だけど・・・

「動物由来感染症」(ズーノーシス)あるいは「人畜共通感染症」という言葉を耳にしたことはありませんか。動物から人間へうつる感染症のことです。玄関を開けたとたんダースと駆け寄ってくるワンちゃんに思わずチューしたくなっちゃいますよね。でもちょっと待った！それダメです。引っかかれたり、咬まれたりして感染することもあります。小さい子供などは動物のウンチを触ってしまった手を口に持っていったりしてうつることもあります。直接触れなくてもダニや蚊などから間接的に感染することもあります。少し前に、のら猫に咬まれた女性がSFTS(重症熱性血小板減少症候群)にかかって死亡したというニュースがありました。「のらちゃんとうちの子とは違う！」おっしゃることはごもっともですが・・・世界では今なおたくさんの新しい動物由来感染症が次々と見つかっています。家族も同然のペットですがやはりここは注意が必要です。



日本では比較的感染症の発生はそんなに多くはありません。日本で実際にあったこんな話です。鳥の展示施設の従業員や来場者の間で「オウム病」が集団発生しました。直接触れ合えるように展示されていたオウムが感染源と見られています。また、ある11歳の男の子は、インフルエンザがなかなか治らないので詳しく検査をしてみたら「Q熱」と診断されました。2か月前から飼いはじめた子猫から感染したことがわかりました。私たち人間だけでなく、ペットに定期検査を受けさせたりしてペットの健康管理にも注意が必要です。

爽やかな秋の日。しっかり体を動かして、美味しいものをたくさん食べて健康な日をお過ごしください。もちろん、ゆったり、ゆっくりお茶を飲みながら本を読むのもいいですね。

公衆保健協会 健診センター

